

令和5年度 八尾市文化財保護審議会 会 議 録

開催日時	令和5年6月8日(木) 午後2時～3時	
開催場所	八尾市役所本館 6階 研修室	
出席者	委員等	山中浩之会長・森 隆男副会長・杉野 丞委員・藤岡 穰委員・稲城信子委員・禰 亘田佳男委員：10名のうち6名の出席
	事務局	新堂魅力創造部長・南課長・西澤課長補佐・藤井係長
傍聴者	なし	
次第	報告1 令和4年度 文化財調査の成果 (1) 指定文化財について (2) 国史跡由義寺跡(第4次)の発掘調査 (3) 市指定文化財(玉祖神社本殿)の修理 報告2 令和5年度 文化財調査等の計画 (1) 市指定文化財候補の調査 (2) 国史跡由義寺跡(第5次)の発掘調査 その他 ・市史編纂事業について	
		報告1 令和4年度 文化財調査の成果 事務局より資料に沿って、調査成果等を報告 ・指定を行った郡川 16 号墳については、未処理の鉄製品（5 点）の保存処理を行う旨を報告した。 （委員の質疑・意見） ◆史跡由義跡の整備に下層基壇の発見をどう活かすのか （回答）本審議会から瀧浪委員と長友委員に参加いただいている八尾市史跡保存活用審議会でも検討し、成果を何らかの形で表現したいと思います。 ◆史跡由義寺跡の発掘調査で下層基壇の規模はどうやってわかったのか。 （回答）新たに確認した下層基壇の堀込地業の端が東・西で確認しています。その幅が 17mになります。南北の長さが不明なので、令和5年度に確認予定です。 ◆玉祖神社本殿の修理について内容については？ （回答）修理の指導を行った杉野委員より、戦前の金属供出で木製になった擬宝珠について、前審議委員で玉祖神社を調査した櫻井氏にも相談し、江戸時代の形状に近いものを選んで設置したことを説明いただいた。 報告2 令和5年度 文化財調査等の計画 (1) 市指定文化財候補の調査 事務局より資料にそって、文化財調査等の計画を報告。常光寺に関連する古文書を指定候補として調査を予定。 ・担当の委員として山中会長（近世史）と綿貫委員（中世史）と企画展を担当した資料館学芸員（資料館館長）とともに資料調査を行うことを説明。 ◆常光寺縁起、足利義満御内書については対象としないのか。 （回答）応永6年（1399）年記があるが、江戸時代（宝永六年（1705））に作成されたもので評価が難しい。御内書も含めて調査対象として評価を定めたいと思います。 (2) 史跡の調査：国史跡由義寺跡（第4次）の発掘調査 現在調査中で、基壇南側の状況が確認できつつあることを報告 ◆吉野ケ里遺跡のような大々的な報道しているような調査とは別に、継続的に地道な調査を重ねている由義寺跡の調査については評価できるとの意見をいただいた。埋

	蔵文化財の報道も少なくなっており、市民への啓発に努めてほしい。 （審議会終了後、記念物担当の禰亘田委員に現地を確認いただいた。） 以上、意見聴取の後、審議会出席の委員全員より、令和５年度文化財調査計画は了承された。 その他報告 事務局より資料に沿って、報告 ・市史編纂事業について 『建造物編』、『通史編１・２』の刊行を進め、今年度で編纂事業が終了予定であることを報告。		
会議録作成日	令和５年６月９日	主管課	観光・文化財課